

すまいる

特集①ファミリー・サポート・センター事業 P2

特集②育児支援ヘルパー派遣事業 P3

ファミリー・サポート・センター事業・援助会員登録会、育児支援ヘルパー講習会・登録会、「こんにちは赤ちゃん事業」子育てサポーター募集、が行われるのに合わせて、今号では板橋区ファミリー・サポート・センター(特定非営利活動法人 保育サービスつくしんぼ)と育児支援ヘルパー受付デスク(特定非営利活動法人 ワークスコープ)に活動内容についてインタビューをいたしました。

- ・ファミリー・サポート・センター事業・援助会員登録会のご案内 P5
- ・育児支援ヘルパー講習会・登録会を開催します P6
- ・「こんにちは赤ちゃん事業」子育てサポーターを募集します! P7
- ・いたばし総合ボランティアセンターからお知らせ P7
- 双子用ベビーカー・バウンサーをお譲りします**
- ・研修会のお知らせ P8

「子育て支援者活動サポートステーション」のホームページです。

<http://www.saposute.info>

新しい情報を随時掲載していきます。

アクセスよろしく申し上げます。

子育て支援者の情報交換や交流のためにメーリングリストを始め
ています。登録ご希望の方は、お名前、子育て支援者登録番号、登録
希望のメールアドレスを記載の上 info@saposute.info までメー
ルで申し込みください。

特集 1

ファミリー・サポート・センター事業

保護者の仕事や通院、地域活動への参加時などに保育サービスを行う、区民の主体的な子育て援助活動ファミサポ。センター長の直井純子さんにお話を聞きました。

取材に応じたくれたスタッフの皆さん



Q ファミリー・サポートではどのような援助活動が多いですか？

件数としては幼稚園・保育園や学童クラブへの送迎と帰宅後の預かりというのが多いです。預かりは援助会員のお宅でというのがファミリー・サポートの基本なので、自宅で預かれる方が援助会員になって下さると良いなと思っています。時間別ですと16時から20時までが多いです。ちょうどその時間ご家族が食事の時間だったりするので、そこでの活動が可能な方ということになってきますが、援助会員の中心は年代別で言うと50～60歳代になります。

Q 援助会員のお宅で預かるということですが、部屋などの条件というものはありますか？

安全に保育が出来るということであれば、特にありません。ご自宅のリビングで預かっているという場合が結構ありますね。あとはペットがいるとアレルギーがあるのでちょっとという利用会員さんもいます。

Q 援助活動への手順は援助会員さんと利用会員さんとで面接をしてということになりますか？

利用会員から日時と内容をお伺いしてから、援助会員を探し始めます。可能性のある方に電話をかけ、出来ますという方には利用会員の依頼内容と連絡先をお知らせします。その後、保育する場所で事前打ち合わせをします。緊急連絡先とか避難場所などもお話して、こういう内容でと取り決めをします。利用会員もお仕事をされていてお忙しいので、土曜とか日曜とかにお会いするということもあるかと思えます。事前打ち合わせをしたら以降は直接連絡を取っていただいています。

Q 一人のお子さんに対し複数の援助会員さんということはあるのでしょうか？

それは当然あります。援助会員さんが一人で毎日ということになりますとなかなか大変ですので、二人でしたら週の前半後半に分けて、自分が出来ないときは代わりにやってもらうことも出来ます。ファミリー・サポートへの援助依頼というのはご家庭ごとに事情が違いますから、一つ一つそれに合わせた援助を作っていきます。

Q どういう方に登録をしてほしいということはあるのでしょうか？

子育て支援者のみなさんは子どもに関わる何か支援をしたいという方ばかりでしょうから、どういう年齢でもきちんと保育できるという方で、出来ればファミリー・サポートを優先して考えてくださる方をおと思っています。

Q 皆さんどのような思いでファミリー・サポートの援助会員をなさっているのでしょうか？

援助活動の依頼を受けてくださる場合に、「それではお母さんは大変でしょう、私がお子さんを連れて行きましょう。」といただく援助会員さんがほとんどです。利用会員の家族のために自分が役に立てるという思いでしょうか。そうすると利用会員さんも本当にありがたうと。そのお互いの信頼関係が出来ている援助という

活動報告書から

- ・学校の話をいろいろ聞きたがる私に付き合ってくれ、一緒に歌ったり遊んだりしてくれます。その付き合い加減が大人みたいです。(7歳男児)
- ・しばらく私に寄りかかって遊んでいましたが、ズルズルと私の足の上に仰向けになり、声を出して喜んでいました。呼びかけに喜ぶように足をバタバタ、体をさすってあげるときゃっきゃっと喜びます。(6か月男児)
- ・1日目は口数も少なく鍵を開けるのもぎこちなかったが、2回3回となるとお稽古までの間、色々話してくれるようになりました。(6歳男児)
- ・本の中のピクニックが気に入りピクニックごっこをしました。「桜が咲いたら行こうね」と約束しました。(5歳女児) (ファミリーサポート通信より抜粋)

ものは、少々何かあってもうまく進んでいく。お互いうまく関係を作れるというのは、やはりコミュニケーションスキルだと思うんですね。こういう問題が起きているけど、ではどうしようかというような話が出る、そういう関係で互いに子どもの成長を喜んで見守るというコミュニケーションが取れる援助会員さんなら何も問題なく出来ると思います。

Q 基本的には会員相互の支え合いということですね。

援助会員が一方的に利用会員を助けているように聞こえますけれども、そうじゃないんですね。援助会員は子どもから本当にいろんな元気だとか何だとかをもらって、病気がちだった人も元気になっていく。目に見えないもののお金に換えられないものをたくさんもらっているというのは、援助会員宅でお子さんを預かるファミリー・サポートの良いところだと思います。60歳代の援助会員ご夫婦が子どもを預かることで会話が増えたとか、中高生のいる援助会員宅ではお兄ちゃんたちに良い影響があるとか。家庭に赤ちゃんが来るということは、家庭に幸せが来るということなんですね。(取材日1月9日)

Q 援助会員・援助内容はどうでしたか

- ・子どもが援助会員に慣れてのんびりできる
- ・子どもが援助会員を好きと言っている
- ・保育が上手ですばらしい
- ・悪天候でも毎日来てくれ大変助かる
- ・この事業と今の援助者がいなければ生活ができなかったのととても感謝している
- ・信頼できる援助会員でありがたい

(23年度利用会員アンケートより抜粋)

特集 2

育児支援ヘルパー派遣事業

出産予定日の1ヶ月前から1歳未満の乳児のいる家庭に、家事・育児援助に出向く育児支援ヘルパー。今回は施設長の大木恭子さんにお話をうかがいました。

Q 育児支援ヘルパーの仕事内容を簡単に教えていただきたいのですが。

家庭によって必要な支援の内容は異なるので、仕事内容を一言で言うのは難しいかも知れません。子どもの見守り、検診の付き添い、掃除、と一例を挙げることは出来ますが、そういう枠にくくれないところがあります。無理をしてまとめれば「皆さんが子育ての中でやってきたこと」でしょうか。私の場合であれば一人目の出産のときに親にやってもらったようなこと。

専門家の支援ではない、ということを利用者さんには説明していますが、逆に利用者の中には育児支援ヘルパーを便利屋のように思っている方もいます。そのような家政婦的な存在ではないということを知ってもらおう努力もしています。

Q 実際に行う仕事以上のものがあるということですか？

なぜこのような支援が必要かという、核家族化が進む現代では出産したものの実家にも帰れないという方がけっこういらっしゃるって、ご自分で見ているという方が多い。子育てはやったものでなければわからないところがあり必ずつまづくところがあると思います。昔は大家族だったし、近所にも親戚も多いし、ちょっとお兄ちゃんに見てねと言えた。今はなんでも自分でやらなくてはならない。視野が狭くなり、育児不安を抱えたり、昔では考えられないような事で悩んでいるお母さんが増えているのです。そういう悩みを軽減させてあげられるように、われわれ育児支援ヘルパーがご家庭に入って支援するということなんですね。

Q なんだか難しい仕事のように思えてきましたが(笑)

スキルとしては誰にでも出来ると思いますが、難しいと感じる方もいらっしゃるのには確かです。技術的なことより例えば、全てをやってあげないと先に進めないご家庭がある一方、20%を手伝えれば80%はできるお母さんもいる。そういう見極めが難しい。そのときに利用者が望んでいることをやってあげることが大事ですが、や



受付デスクは、なります0.1.2ひろばに併設されています。

がては支援の割合を減らしてって私たちの力がなくても、「あとは大丈夫、自分で出来る気がするわ」となってもらうのが本当の支援ですから。

また、育児支援ヘルパー登録されている方からは、初めてのお宅に入る事が難しいという声もあります。相手に信頼されるには会話力とかコミュニケーション力は多少は必要なので。

Q コミュニケーション能力ですか。

なぜ家庭に入るかということ、それはお母さんとお子さんが一番安心できる場所に入ることなんですね。安心できる場所でママ自身がやっていることが、合っているのか間違っているのかわからないところも全部一度は見つめて差し上げて、コミュニケーションが取れてきたころにはちょっと間違っているかも知れないわねと言えるかも知れませんが、でもママのやっていることを全否定はしない。そのようなやり方もあるけどこういう風なやり方もあるわよねと言ってあげる。そのように私たちが接することによって、育児不安を持っていたお母さん方に笑顔が見えてくるのです。

育児書が著者によって微妙に違うように、この方にはA方法がいいかな、この方にはB方法がいいかなと相手を良く見て、もちろん自分の素もさらけだして、受け入れ態勢をお互いに取れるようになってから支援は始まるのだと思います。

Q 何年か前から人と対面して得る情報、リアルな関係よりネットでの情報を重視するような傾向がありますが？

今は育児書だけではなくて、わからないことがあるとすぐネットで調べて、ネットで調べた事と違うと言うお母さんは多いです。私たちが、知識でいっぱいになっているお母さんの頭を少しずつ小さくして、心を育てていけるようになればと思っています。

しかし、このような行政サービスや地域の子育て支援にたどり着けないお母さん方もいるのです。子どものことだけでいっぱい一日が終わってしまう。そのような孤立しているお母さんの方がずっと問題です。そういうことがないように微力でもお手伝いできたらなと思っています。

Q 最後に、どのような方に育児支援ヘルパーになってもらいたいと考えていますか？

自分をさらけ出すというか、自分の素を出せないと相手も身構えてしまうと思います。そういうことができなかつ、自分の経験で若いママたちの子育てをお手伝いしてあげようかなという人だったら大丈夫です。

自分が育児をするときに親の手がなくて非常に困った、だから逆に私がそういう仕事をやってそういうお母さんたちのプラスになればという人もいれば、子育て中にさまざまな支援を受けたので、今度は私が支援をしますという人もいます。育児支援ヘルパーは、仕事としての意識は持ってもらいたいが、定期的な収入を得るというものではなく、有償ボランティアという社会貢献的な意味合いの強い仕事です。それゆえに支援をした子どもが大きくなり、手紙をもらったり、写真をもらったり、街中で声をかけてもらえとか、そういうつながりが出来たという声が多く聞けるのだと思います。(取材日1月8日)

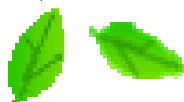
Q 育児支援ヘルパーの登録、また活動をされようと思った理由をお聞かせください。

- ・核家族で頑張って子育てしている若いお母さん達の役に立てたらと思った。
- ・子どもが好きなので子どもに関わる活動をしたかった。
- ・空いた時間で地域のために何かしようと思った。
- ・子育て支援者養成講座を受講して資格を生かした仕事だから。
- ・自分が子育てしたときに大変だったので少しでもお手伝いしたいと思った。
- ・昨今のニュースを見聞きし子ども達が犠牲になってしまうことへの驚き、子を愛せない親がいることへの驚き悲しさに何か出来ることはないだろうか？と思ったことがきっかけ。話をするだけでも少しは気持ちを楽にさせてあげられるかと思った。
- ・新しい生命と一緒に世話できたらと思った。
- ・子供会活動や幼稚園、保育園での活動経験を生かすため。
- ・自分自身が社会の中で活動している充実感を得るため。
- ・登録するものと思っていた。
- ・社会勉強。(育児支援ヘルパーへのアンケートより抜粋)

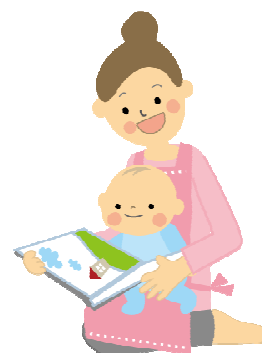
大きくなり、手紙をもらったり、写真をもらったり、街中で声をかけてもらえとか、そういうつながりが出来たという声が多く聞けるのだと思います。(取材日1月8日)

ファミリー・サポート・センター事業・援助会員登録会のご案内

一緒にお子さんのサポートをしませんか。



- 【日時】平成25年2月21日(木) 13:30~16:00
- 【場所】区立グリーンホール402会議室
- 【内容】ファミリー・サポート援助会員の登録及び活動内容の説明
- 【対象】子育て支援者養成講座2級修了者で70歳未満の方
- 【費用】無料
- 【当日の持ち物】●2cm×2cmの顔写真(会員証添付用)1枚
※胸から上の写真で、カラー・白黒いずれも可。
●筆記用具、印鑑
- 【申込締切】平成25年2月15日(金) 締め切り厳守
- 【問合せ・申込先】子ども家庭支援センター TEL 3579-2656



～ファミリー・サポート・センター事業とは～

援助を受けたい区民(利用会員)と援助を行いたい区民(援助会員)の会員制による短時間の保育サービスです。



～主な援助活動内容～

- 一時的な保育 ●保育園、幼稚園、小学校、学童クラブへの送迎、及びその前後の保育。
- 塾やおけいこへの送迎 ●お母さんの病気、通院などの場合の預かり
- その他、子育て中のお母さんのリフレッシュのための預かりなど



～援助活動場所～

援助会員宅・利用会員宅・児童館等



～料金(子ども1人1時間あたり)～

月曜日～	9:00～17:00	800円
金曜日	その他の時間	900円
土曜日～日曜日及び祝日		900円
年末年始(12月29日～1月3日)		900円



～登録できる方～

子育て支援者養成講座(2級)課程を修了された方で、自宅などでお子さんを預かれる方。

※9歳未満のお子さんをお持ちの方は一緒にみることはできません。

※安心して活動できるように区が傷害保険に加入しています。

育児支援ヘルパー講習会・登録会を開催します。



区内在住で出産予定日の1か月前から生後1歳未満の乳児のいる家庭に、家事や育児の手伝いに行ってください方を募集します。

子育て支援者養成講座2級課程修了者の中で、下記の講習会を受講された方が対象となります。

講習会受講後「育児支援ヘルパー」として区に登録していただき、利用者からお手伝いの依頼があった際に、近隣にお住まいの方から優先的に援助をお願いすることになります。

★講習会★

【日時】平成25年2月14日（木）9：15～16：30

【場所】大原社会教育会館（板橋区大原町5-18）

都営三田線「本蓮沼」駅 下車5分

【内容】午前：ヘルパーとしての心構えや支援内容など講義（第二集会室）
午後：離乳食の調理実習（調理実習室）

【対象】70歳未満の方

【費用】無料

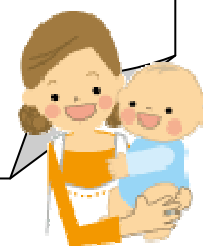
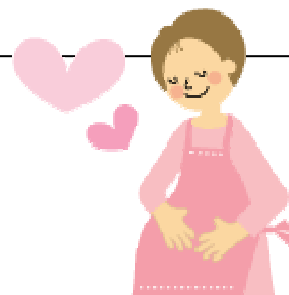
【当日の持ち物】●3cm×2.5cmの顔写真（ヘルパー認定証用）1枚

※胸から上の写真で、カラー・白黒いずれも可。

●エプロン、三角巾、ふきん、筆記用具

【申込締切】平成25年2月7日（木）

【問合せ・申込先】子ども家庭支援センター TEL 3579-2656



～育児支援ヘルパー従事内容～



支援内容：食事の支度、買い物、洗濯、掃除などの家事の補助や、沐浴・授乳などの育児の援助



時間帯：月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで

（土・日・祝日・年末年始を除く）



援助時間：1件1日2時間から4時間までの範囲で利用者が希望する時間数



報酬：1時間／1,220円



「こんにちは赤ちゃん事業」子育てサポーターを募集します!

「こんにちは赤ちゃん事業」の子育てサポーターの活動は、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図るための子育て支援事業のひとつです。

こんにちは赤ちゃん事業は、出生通知票が提出されていない生後約2か月の赤ちゃんのいるご家庭を訪問する事業です。新たに赤ちゃんを迎えたお母さんの不安や悩みに耳を傾け、子育て支援情報を届け、適切なサービス提供につないでいく活動をしていただくこととなります。訪問した時の様子は、健康福祉センターの連絡会（月1回）で報告していただきます。

◆応募条件

- ①子育て支援者養成講座2級課程修了者
- ②他の仕事(パート含む)をしていない方
(ファミリー・サポート・センター援助会員・育児支援ヘルパー等は除く)
- ③平成25年4月から1年間活動できる方
- ④毎月の連絡会および研修に参加できる方

◆ 各健康福祉センター 2~3名程度

◆ 年度毎の委託契約(4/1~翌年3/31)

◆ 活動日・時間帯

平日の9時~17時

◆ 支払に関すること

訪問1件につき、1000円の支払い
交通費支給なし

◆ 普通傷害保険契約あり(訪問活動中)

◆ 活動時使用する事務用品、訪問鞆は貸与

募集内容の詳細について下記の日程で説明会を行います。説明会に参加した方のみ、ご応募いただけます。

◆ 説明会は、下記のとおりです。(同じ内容) ※事前に申し込みの上、ご参加ください。

平成25年2月20日(水) 14時~15時 会場:板橋区役所9階大会議室B

2月21日(木) 10時~11時 会場:板橋区役所6階601会議室

◆ 申し込み締切 平成25年2月15日(金)

◆ 申し込み・問い合わせ先 板橋区健康生きがい部 健康推進課 健康サービス係

担当:高橋・木下 電話(3579)2313

いたばし総合ボランティアセンターよりお知らせ

双子用ベビーカーとバウンサーの寄付がありました。使わなくなったので保育施設や子育て支援、双子のお子さんに役立ててほしいとのことです。ご希望の方にお譲りしますので、下記までご連絡をお願いいたします。



マクラレン RALLY TWIN ウォーマー付
本体のみ業者にてクリーニング済みです。

カトージ ママコラボバウンサー
取扱説明書、収納袋付



連絡先 いたばし総合ボランティアセンター 担当 成島
電話 5944-4601

研修会のお知らせ

子育て支援者活動サポートステーションが企画する研修会。今回はテーマ1として、子育て中のお母さん方にお集まりいただき、「現役ママから見た子育てしやすい環境とは？」を共に考えたいと思います。またテーマ2として昨年6月17日の交流会にもおいでいただいた、浅見このみさんをお迎えし、手遊び・リトミックを学びます。明るく、楽しく、ためになる研修会を目指しています。子育て支援者の皆さま、ふるってご参加ください。

日時 3月24日(日) 12:45開場 13:00スタート 15:00終了予定
会場 いたばし総合ボランティアセンター第4ルーム 本町24-1(板橋本町駅徒歩8分)

テーマ1「子育て中のママから見た子育てしやすい環境とは？」

発言者 子育て中のお母さん方

子育てしやすい街ってどんなところだろう。「今」の子育てを子育て中のお母さん方に語っていただき、支援のあり方を子育て支援者の皆さんと考えていきたいと思ひます。

テーマ2「“このみリトミックワールド”を学ぶ」

講師 浅見このみさん (リトミック講師)

単に手遊びと呼んでしまうにはあまりに不思議な「このみリトミックワールド」。交流会では30分ほどしか時間が取れず、きちんと学びたいという声があがっていたため研修会での講師をお願いしました。子どもの心をつかむその秘訣を学びます。

※参加費は無料です。 ※ハンカチを使ひます。

平成24年10月14日に行われた研修会(テーマ1「知的に障がいのある子どもとの付き合い方」・テーマ2「チャレンジ パネルシアター」)のDVDを貸し出ししてあります。ご返却いただいた方からは「実践的でためになった」「自分でもやってみてみたいと思ひた」等の感想をいただひてあります。貸し出しのお申し込み、ご質問は、子育て支援者サポートステーション 担当 山崎まで連絡をお願いします。

編集発行

発行 子育て支援者活動サポートステーション

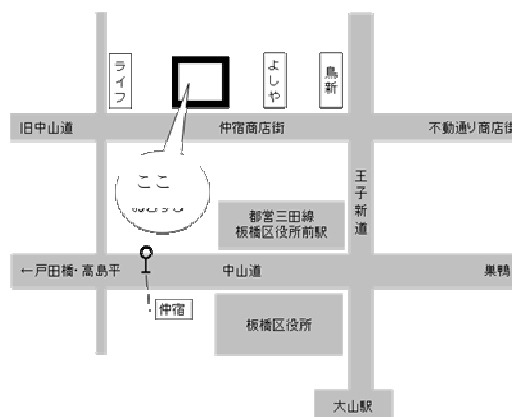
〒173-0005 東京都板橋区仲宿 45-6

NPO 法人ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし 内

ホームページ <http://www.saposute.info>

メールアドレス info@saposute.info

TEL&FAX 03-5943-1888



編集後記

NPO 法人ボランティア・市民活動学習推進センターいたばしの行う「第2回地域力交流会」というシンポジウムで「第一分科会-子育て」を担当することに。資料を集めたり、いろいろな方に話を聞いてありますが、本当に多くの方が熱意を持って子育て支援をなさっているのだと実感します。このような方々が板橋の地域力を作っているのですね。「第2回地域力交流会」2月24日(日)13時よりグリーンホール6階です。資料代500円かかりますが、お時間のある方はぜひどうぞ。 山崎